

意の部は入る初文字のハハとミミとアアとオオと
 のや又思の部は入るハハとミミとアアとオオと

ち〜夢や
ま〜うさのぬとつみむい柿のあまとうまをてゆく

板本に結句ありて註を此の落字より他本引合せしと
 いひく此柿の本とくらへりとのとせし古寫本中の塙本
 もこの柿本よりくらへりてやくとも依く此二本をもく
 補ふ又古寫本の解をまひるこのぬとふみ柿より峯へあはれ
 ぼるぬやまひることいふぬやうに柿本と云うげもあると
 ありて
 有く詳ある解なり君侯云まひるきのぬを飛ののをもた